



お待たせしました！メルマガ 6 月号です。今年の梅雨はあまり雨が降らないと思っていたら一転、ようやく梅雨らしくなってきましたね。暑くてじめじめした日が続いていますが皆さんいかがお過ごしでしょうか。4 月に入部してきた新入生もだいふワンゲルに慣れたようで、部室は毎日賑わっています。今月号は新入生の感想を中心に、ボリューム満載でお届けします。

== Index =====

- 新入生紹介
- 合宿感想
 - 新歓ハイキング
 - 新歓合宿
 - 春 PW
 - 一次予備合宿
- 新リーダー紹介
- あしがき

=====

□—————□

新入生紹介

□—————□

先月号では新入部員勧誘の様子をお伝えしましたが、その後 16 人もの新入生が入部してくれました！数年ぶりに外国語学部や人間科学部の部員も誕生しました。

- ・泉 竜成 (工学部 地球総合工学科)
- ・今西 章久 (工学部 応用自然科学科)
- ・越智 勇介 (文学部)
- ・小池 成彦 (基礎工学部 システム科学科)

- ・田浦 直弥 (工学部 電子情報工学科)
- ・辻 尚宏 (基礎工学部 システム科学科)
- ・土屋 慧歩 (工学部 応用自然学科)
- ・堤下 諒士 (理学部 生物科学科)
- ・中野 智哲 (経済学部 経済・経営学科)
- ・花田 祥一 (外国語学部 外国語学科 アラビア語専攻)
- ・花村 友喜 (基礎工学部 電子物理科学科)
- ・番野 洋輔 (経済学部 経済・経営学科)
- ・細谷 隆文 (理学部 生物科学科)
- ・堀田 侑希 (外国語学部 外国語学科 ポルトガル語専攻)
- ・吉田 凌 (経済学部 経済・経営学科)
- ・若宮 稔基 (人間科学部 人間科学科)

個性豊かな人ばかりで、今年度はますます賑やかになりそうです。……気づかれましたでしょうか？はい、そうです。新入部員は男ばかりです…。マッチェンはついに絶滅してしまいました。マッチェンも意識して頑張って勧誘したつもりだったのですが、残念な結果となってしまいました。また来年度に期待しましょう(泣)。というわけで、今年 58 年目のワングルは男 30 名でパワフルに活動していきます！！

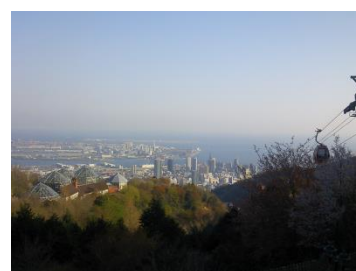
早速ですが新入生に合宿の感想を聞いてみました。それでは新歓ハイキング、新歓合宿、春PW、一次予備合宿の様子をお伝えします。

2013/4/13

新歓ハイキング

今年度の新歓ハイキングでは、六甲山系の摩耶山でバーベキューをしました。去年より多くの新入生が参加してくれ、天候も良くワングルの活動に触れてもらう良い機会とすることができました。新歓ハイキングに来て入部を決めてくれた新入生も多く、上回生にとってもやりがいのあるものでした。

僕たち 1 回生は、ワンダーフォーゲル部の体験という形で、滋賀県の六甲山に新歓ハイキングに行ってきました。そこでは、先輩方がワングルや山についていろいろ教えてくださりしました。道のりはそんなに険しくなく、すぐに頂上に着きました。その日は快晴だったので、頂上からとてもいい景色が見られま



した。バーベキューもすごく美味しくとても楽しかったです。僕はこの新歓ハイキングを通してワンゲルに入りたいなと思ったので、とてもいい体験になりました。

(58期 経1 番野洋輔)

2013/5/11-12

新歓合宿

今年度の新歓合宿では、悪天候ということもあり、新歓合宿なのに練成合宿のような雰囲気でした。ですが、就寝前の自己紹介時には、みんな「良い経験でした」と言ってくれ、我々2,3回生としては少し申し訳ない気持ちになりました。ですがこの合宿で新入生との距離がかなり近くなったのではと思います。

僕にとって人生初の登山となり、一体登山とはどんなものなのだろうという期待と皆に迷惑をかけてしまうかもしれないという不安が混じり合いながらの山行となりました。山小屋では、こういった環境のもと一泊するのは初めてだったので正直驚きました。でも、それらを打ち消すほど楽しい登山となりました。愉快的な同級生や先輩方、雨があがった後に見える幻想的な景色など・・言い出すときがありません。これからも楽しい登山になるよう努力していきます。

(58期 理1 堤下諒士)

初の本格的な登山！ということで、一週間前から不安と期待にさいなまれつつ、買出しにわくわくしたり、パッキングに苦勞したり、ザックの重さに衝撃を受けたりしていると、気づいたら当日になっておりました。1日目は綺麗な青空！・・・ではなく雨模様の中での山行となりましたが、霧に包まれた森の風景や山頂から見た雲海は、また独特の良さがあり幻想的で美しいものでした。雨による地面のぬかるみにかなり苦勞し



ましたが、なんとか山小屋に到着！思っていたよりも綺麗に整備されていてホッとしました。内ワークや食事の時の儀式、寝袋での就寝、起床と何から何まで新鮮で、カルチャーショックを受けたところもありましたが、とても楽しかったです。2日目は一変、晴天に恵まれて、琵琶湖を一望できました。下りは案外すらすらと進み、無事下山することができて達成感を味わいつつ帰宅。その後、合宿後に浴びるシャワーや布団に感動を覚えたり、先輩や同期たちとの打ち上げを楽しんだりしました。合宿中もさることながら合宿後もまたワンゲルの楽しみなんだなあ、と感

じました。これからはもっと過酷ながらも楽しいワングル生活が待っているということで、楽しみにしつつ精進していきたいと思います。

(58期 人1 若宮稔基)

2013/5/18-19

春PW

今年度から“新春PW”ということで、新歓合宿と一次予備合宿との間に、ワングルの山以外の活動にも触れてほしいということで、新しく活動を始めました。今回は豊中キャンパスから万博まで自転車でいき、チャリ合宿を体験してみる「万博チャリ」、琵琶湖でキャンプをして楽しむ「琵琶湖キャンプ」、奈良県の曽爾高原へ行き軽い歩荷で山を楽しむ「曽爾高原」の三つがありました。どの合宿も非常に楽しかったらしく、良い息抜きになったのではないのでしょうか？

○曽爾高原

この時点で新歓合宿しか行ってなかったの、部活というより大学生活の息抜きになりました。山行はまさにハイキングコースで、天気も良く、先輩もゆっくりしたペースで行ってくれたので快適に登れました。夜はキャンプファイヤーと炊事、テント泊で、星が満天というほどではなかったのが少し残念でしたが、良いキャンプになったと思います。朝はワングル部ではなかなか無い朝食バイキングもあり、温泉にも入れ、とても充実した2日間になりました。

(58期 工1 泉竜成)

○万博チャリ

普段は通学用のチャリを使っているの、先輩から借りたチャリのスピードはすごく速く感じられて気持ちよかったです。一列に並んで行くのでそれほどスピードは出せないと先輩はおっしゃっていたのですが、僕には速かったです。万博では、テレビでしか見たことのない、太陽の塔を実際に見られて面白かったです。他にも、マダガスカルについての展示物があって、楽しめました。自分はまだ速く走るためのチャリを持っていないのですが、買いたくなりました。楽しいPWでした。



(58期 経1 中野智哲)

○琵琶湖キャンプ



山行なしでキャンプ場に行き、2日間ひたすら自然の中でのんびりと過ごせた合宿でした。到着後、まずテントを設営しました。ポールが折れるトラブルが発生しましたが、臨機応変に対処する先輩方の姿に頼もしさを感じました。そのあとは、バーベキュー。1回生の希望で魚介類をメインにした豪華なものでした。夕方までの時間潰しは魚釣り。が、全く魚は釣れませんでした。気を取り直して、パン作り開始。しかし、未経験者ばかり、しかも屋外でパンを焼くなんて・・・魚釣り以上に無謀だと最初は思っていました。しかし、生地を練った後、炭火の熱を利用して発酵させたところ、見事に膨らみました。そして、コッヘルで焼きあがったパンは底が焦げていたものの、「こんな美味しいパン食べたことない!」と、大好評でした。翌日は湖畔を少し散策した後、天気が悪くなる前に撤収して、雨に遭うことなく無事に帰って来ることができました。いろいろな体験ができて、充実した2日間でした。

(58期 基1 花村友喜)

2013/5/25-16

一次予備合宿

いよいよ、夏合宿に向けて本格的な合宿が始まりました。今年は京都北山で行い、一回生にとってはおとつらい合宿になりましたが、天候はとてよく、なかなか良い合宿になりました。

予備合宿ということで、これまでとは違う、きっちりしたものでした。山行から各種ワーク練まで、自分に与えられた役割や責任を果たさなければならないことがどれほど大事かよくわかりました。景色的に楽しいものはなく、行った道を引き返す行程も辛かったですが、これからのことを考えて、厳しく鍛練していきたいと思います。とくに外ワークは完璧にしたいところです。

(58期 工1 土屋慧歩)

夏合宿にむけた合宿であるため、これまでの企画とは異なり、山行に楽しさがない合宿でした。(このワンゲルに入るまで登山をしたことのない私にとって、26kgを背負っての山行が非常につらかったのが主な理由ですが…)この合宿でワークの流れや、それに与えられた時間の短さを知ることができました。反省会で先輩方から指摘されたこと(ワークが遅い、声が出てない等)を次の合宿では活かせるようにしたいと思います。

(58期 工1 田浦直弥)

56期新リーダー紹介

新入生がたくさん入ってきた一方、去年ワングルを支えて下さった55期の方々が引退され、56期体制へと移行しました。今年のリーダーは7人。2回生も7人。ということで57期が56期リーダーを一人一人紹介していきたいと思います。

○林 貴哉 (主将)

林さんは、僕や他の後輩の面倒を良く見てくれます。どんなに辛い山行中であっても、どんな適当な話をしても、必ず言葉を返してくれます。だから、僕にとって林さんは、偉大な先輩であり、僕は、林さんの事が大好きです。

(大塚駿より)



○河相 圭亮 (副将)

河相さんといえば梅酒、梅酒といえば河相さん。「梅酒」は河相さんの代名詞です。飲み会では必ず梅酒を注文し、いろいろな人に親しげに話す姿をよく目撃します。そんな河相さんは今年ワングルの副将を務められます。合宿では変顔やトークでパーティを盛り上げます。しかし、指導すべき時には厳しく指導できる、芯のしっかりしたメリハリのある人です。今後ワングルを引っ張って行って下さる、頼もしいリーダーです。

(武藤智太朗より)



○松尾 勇汰 (主務)

僕は1年の後期から入部したのですが、その時から「松尾さんは怖いぞ」と言われ続け、松尾さんは怖い人だと刷り込まれていました。工学部で吹田に通っているため、入部してからほとんど会うことなく、初めての合宿を一緒に行くことになりました。蓋を開けてみれば、確かに鋭くエッジが効いている印象を受けました。だがこの印象はただ最初の刷り込みによって思わされているだけではないかという疑問も浮かびました。実際話してみると第一印象は氷解し、とても感じのよい先輩であることがわかりました。それからというもの、冬PW、L養、読図山行でも大変お



世話になりました。ストイックさとワンゲルに対する熱い思いは人一倍でそのようなところを見習っていききたいと自然に思える偉大な先輩です。

(堀部和也より)

○増井 慎一 (装備)

増井さんには同じ経済学部先輩としていつもお世話になっています。増井さんの印象といえば、チャリとマンガをこよなく愛しているというところですか。特に、チャリについてだったら何でも知っていると思われそうです。また、部室によくいらっしやってマンガをじっくり読んでおられます。そして、現在は合宿において非常に重要だと思われる装備係として活躍されており、部員一同、感謝という言葉以外はありません。普段から色々な面倒をみて頂いている本当に頼れる先輩です。



(中澤茂樹より)

○出口 亮 (山小屋)

出口さんはワンゲル1のアイス好き。聞くところによるとハーゲンダッツのカップが部屋にあるそうです……。そんな出口さんは有り余る体力で一回生のころから夏合宿で爆走されていました。常に温厚な出口さんですが、やることはやる。そんなリーダーさんです。

(宮森由布里より)



○平井 皓基 (会計)

右手に麻雀牌、左手に酒。そんな我らがリーダーの一人である平井さんは、今年はお金を扱います。OBさんからの麻雀のお誘いも断って、お金を数えるその姿にはリーダーとしての威厳が染み出ていました。しかし僕は知っています。山にいる平井さんが一番凄いことを。こと読図に関しては、他の追従を寄せ付けぬ心眼を発揮しておられます。さあ平井さん、次の合宿もコンパス片手に出発進行。とても頼れるリーダーさんです。



(丸山大貴より)

○堀 裕樹 (保険)

「食卓の神」とは堀さんのことです。料理のレパートリーは底が知れません。堀さんの作る料理には、世界があります。堀さんの作ったカレーを、「カレー」と呼んではいけません。「堀さんの



カレー」と言わねばならないのです。堀さんの出してくれるオリーブオイルを、堀さんの作ってくれるポトフに垂らせば、あなたは未知の世界に誘われることでしょう。

「アップビート・ワンゲラー」とは堀さんのことです。よく梅澤さんとライブに行くそうです。多くのジャンルの曲をご存知です。たとえば、「ブラック (?)」とか「ソウル (!)」とかご存知です。飲み会で堀さんがいれば、あなたはラッキーです。パソコンの前でグルーヴなノリの音楽をかけながら、頭を上下に振って upbeat する堀さんを見ることができるのですから。

(金田宗和より)

=====

メルマガ 6 月号お楽しみいただけただけでしょうか？ 55 期リーダーが引退され、1 回生がたくさん入部した慌ただしかった時期もすぎ、ようやく一段落しました。そして僕たち 57 期はいよいよ 2 回生となり、先輩として 1 回生を指導する立場となりました。今の 1 回生を見ていると、1 年前の自分の姿が思い出されます。1 年前は体力的にきつかった合宿も、今ではいくらか余裕があり、自分自身の成長を少し感じます。それと同時に、1 回生をしっかり指導しなくてはいけないという責任感も感じている今日この頃です。

さあこれからいよいよ夏本番。夏山シーズンの到来です。今年のワンゲルはさぞかし暑い暑い夏となることでしょう！（男ばかりですからね）それでは来月号をお楽しみに！

アンケートページ：<http://www.ouwv54.org/enquete/enqform1306.html>

ギャラリーページ：<http://www.ouwv54.org/mailmagazine/gallery1306.html>

メルマガ委員 武藤智太郎
宮森由布里